



# 羅針盤

# らしんばん

No.56 (No.14)  
平成 24 年 5 月発行  
社団法人岡山県介護福祉士会  
〒 700-0813  
岡山市北区石関町 2-1  
岡山県総合福祉会館 5 階  
TEL : 086-222-3125  
印刷編集協力 : 友野印刷



## えが お

手作業や料理会は主要メンバーでいつも一生懸命される  
つねこさん。

リハビリを頑張りかなり歩けるようになりました。

時折見せてくれる笑顔に私たちスタッフの心もなごみます。

これからも元気で、また素敵な笑顔を見せてくださいね。

真庭地区 (ゆうあい) 山根 寿子

## 報 告

# 平成23年度 岡山県介護福祉士会 通常総会の開催並びに一般公開講座

**通常総会**

平成24年3月17日（土）13：00～13：55

岡山県総合福祉会館4階大研修室にて行われました。

審議事項は、

- (1) 平成24年度事業計画（案）
- (2) 平成24年度収支予算（案）
- (3) 一般社団法人移行に伴う定款の変更に関する件
- (4) 一般社団法人移行に係る新規則第1号  
会費納入に関する規則の変更に関する件

以上の4議案は承認されました。

**一般公開講座**

14：00～15：30

■講 師：社団法人岡山県歯科衛生士会会長 武田 明美 氏

■演 題：『健口力アップで、充実人生』～食べる楽しみいつまでも～

食べるとは五感（目・耳・舌・鼻・皮膚）で味わっている。

よく噛んで食べ、適度に動き、やりたいことが自分で出来る充実人生を送るためのポイント。

そして、噛める歯を保つための手入れの仕方や唾液の働き、健口体操を学びました。

食べるという行為を再確認した講義でした。



## 報 告

# 平成24年度 社団法人岡山県介護福祉士会 通常総会並びに一般公開講座

**通常総会**

平成24年5月18日（金）13：00～13：25

岡山県総合福祉会館大研修室にて、通常総会が開催されました。

- ・第1号議案 平成23年事業報告に関する件
- ・第2号議案 平成23年決算報告に関する件
- ・第3号議案 役員を選出に関する件

以上の3議案について承認されました。

**安心三重奏説明**

13：30～13：55

会員の為の専用福利厚生制度“安心三重奏”の保険についての説明

**一般公開講座**

14：00～15：30

■講 師：中国短期大学教授 川上 道子 先生

■演 題：『医療的ケアの動向について』～介護職員等による たんの吸引の研修について～

医療行為の用語（言葉）の整理と歴史の説明、行為に至るまでの経過、研修内容・システム等についての説明がありました。外付け行為（医療行為）に翻弄されないよう、介護の専門性の理解・理念をしっかりとっておきましょうと話されました。



# (仮称) 認定専門介護福祉士(認知症)

グループホームやすらぎ荘

中 井 愛

(高梁・総社地区)



私は平成11年に介護福祉士となり、介護老人保健施設で10年間勤務後、現在勤務するグループホームへ異動しました。介護老人保健施設でも認知症介護に携わっていましたが、グループホームで利用者さんと一緒に生活を送る毎日の中で、認知症介護について「目からウロコ」体験を多くし、また壁にもぶつかりました。認知症介護はとても奥が深く、利用者さんやご家族の気持ちにもっと寄り添える様に基本的な事から学びたい、そしてグループホームのケアの質を向上させるためにも職員に具体的な事を伝える方法を学びたいという思いから、本研修の受講を希望しました。

研修時間は講義及び演習140時間・自職場実習160時間の計300時間で、毎月2～4日大阪まで通うというハードな研修でしたが、北は青森から南は宮崎まで、20代～60代の40名の参加がありました。認知症についての医学的・心理的理解や私が生まれる前の認知症介護の歴史、認知症の方を取り巻く環境やサポートネットワークについて、リスクマネジメント、介護過程の展開や事例検討など、内容は多岐にわたりました。講師の方も、医師・看護師・社会福祉士・介護福祉士、大学の教授や養成校の先生、現場で看護や介護に携わっている方など様々で、いろんな視点からの認知症介護について学ぶことができました。

平成20年に受講したファーストステップ研修同様、研修内容はグループワーク中心で、自分たちが持ち寄った事例についても話し合う機会が何度もありました。新たな知識の習得よりは、現場での振り返りや今まで得た知識を補う内容が多かったです。そしてどの講師の先生も認知症の方である前に一人のかけがえのない人間として見る事、BPSDといわれる行動には全て意味がある事を繰り返し話されました。また、パーソン・センタード・ケアについても学びを深めました。

この研修を受講して、私が深く心に残ったことは、認知症ケアの専門性についてです。①認知症の基礎知識をもつこと②認知症ケアの理念と技法をもつこと③認知症ケアの心(倫理観)を持つこと。そして、認知症の方が求めている介護者とは、同じ人間として苦しんでいる私(認知症の方)に気がつき、私の「世界」を理解しようとする人です。そのような介護者になるためには、まず何よりも本人やご家族の思いを聴く事です。この事は認知症ケアだけでなく、介護福祉士の専門性につながるとも感じました。

今後も、介護福祉士として介護実践を常に振り返りながら、利用者さんの心に寄り添い関わっていきたいと思います。



# 養成研修を受講して

介護老人保健施設 藤崎苑

山口 浩子

(東備地区)



私は、このたびの研修で次の2つの事が心に残りました。一つは、介護福祉士はケアを通して認知症の方の「中核症状と行動・心理症状」を知ろうとする姿勢が重要であるという事。二つ目は、「介護福祉士の専門性とは何か」と幾度となく問われたことです。常々実践を通して「食事・入浴・排泄」等の生活支援を行うだけが介護福祉士ではないと感じていました。しかし、「専門性とは」と問われると即座に言語化することができませんでした。今、改めて言語化するならば、日常的な生活支援を通して、一番身近にいる者として、自らの感情を統制し知識と技術を用いて、認知症の方の心身の変化に気づく。そして、必要に応じてうまく言葉にできない思いを代弁し、チームケアの中で役割を果たす事ではないかと考えました。介護福祉士の専門性を意識しながら、他職種との連携を図る。また、自らのケアを振り返り、介護福祉士としてのレベルアップをしたいと思いました。

## 研修の主旨

介護福祉士の専門性を基盤として、認知症の人に対する生活支援の介護サービスの充実を図るために、認定専門介護福祉士（認知症）の育成を目指すものである。

## 研修のねらい

- ① 認知症の人の尊厳を十分に理解し、尊厳を支える具体的な介護ができる
- ② 介護過程の展開を適切に行うことができる  
(ニーズ把握、介護計画作成、実施、評価)
- ③ 自職場で部下や後輩に認知症とそのケアについて説明できる
- ④ 自職場において認知症介護に関する問題解決ができる

## 受講条件

以下の3項目全てを満たしている者、又はそれと同等以上の能力を有すると都道府県支部長が認めた者とする。

- ① 介護福祉士資格取得後、5年以上の実務経験を有する者  
(実務経験は介護の業務とし、介護支援専門員、相談員等の業務は含まない)
- ② 介護施設、認知症グループホーム、訪問介護事業所等で日常的に認知症ケアを実践している者
- ③ 生涯研修制度に位置付けている「ファーストステップ研修」を修了している者又は生涯研修制度に位置付けている研修を150時間以上(100ポイント以上)修了している者

## 研修時間

合計300時間 ①講義及び演習 140時間 (23日間)  
②自職場実習 160時間

\*やむを得ない事情により欠席した場合、3年以内に全科目を修了するものとする。

【東京会場：全23日間】

科目名	時間
認知症の人の共感的理解	12時間
認知症の人の生活の理解	12時間
認知症の人の医学的・心理的理解	12時間
認知症の人の介護の基本・原則	30時間
コミュニケーション	12時間
サポートネットワーク	12時間
介護過程の展開	24時間
職員への教育方法	6時間
事例検討	20時間

## 参加費

日本介護福祉士会会員 50,000円  
その他 100,000円

## 会場

松下IMPビル5階 会議室H  
(大阪市中央区城見1-3-7)

## 修了認定について

日本介護福祉士会の(仮称)認定専門介護福祉士養成委員会において、①研修終了後認定試験②自職場実習終了後のレポート(テーマは後日提示)によって修了認定を行い、修了者には日本介護福祉士会会長及び(仮称)認定専門介護福祉士養成委員会より認定証を発行する。

# 初任者研修

## ●倉敷地区（カテゴリー：社会保障、福祉制度及び生活支援領域）

平成24年2月26日、ますみ荘1階ホールにて、『成年後見制度について』岡山パブリック法律相談所の新名雅樹氏に講演して頂きました。会員27名、非会員11名の計38名の参加がありました。ケアの現場ではあまりなじみのない制度ではありますが、今の居宅支援や、施設入所には後見人が必要になっている現状のようです。利用者だけでなく、自分にも近い将来関わってくる問題で、講師の「自分に何かあった時に誰があなたの財布を管理するのでしょうか」「その人が確実に管理できるのでしょうか」という言葉が印象的でした。実際に、在宅利用の支払いなどの金銭のやり取りを、認知能力、身体能力の低下した利用者の方がどこまで自分で出来るのでしょうか。法律の内容や、手続きなどわかりやすく学ぶことができ、参加者は集中して講師の話に耳を傾けていました。

研修会後、講師は「今、困っている方はもっとたくさんいると思います。我慢して手を挙げない方に気づいて、一緒に手を挙げてくれる、そんな関わりを介護の方だけでなく、みんなが出来る地域性を作っていく必要がある」と話され、「介護の方がいるからこの制度も成り立っている」と労いの言葉をいただき、閉会しました。

（報告：荻野 明弘）



## 平成24年度 地区開催初任者研修内容

地 区	カ テ ゴ リ
岡 山	社会保障福祉制度及び生活支援領域（各制度のしくみの理解に関すること、施設見学等も含む）
倉 敷	障害福祉（各種リハビリ関係も含む）領域（障害者制度・ケア・障害別の介護方法の理解に関すること）
美 作	介護技術領域（新しい介護技術の習得、介護方法の見直しなど、実際的な身体介護技術に関すること）
東 備	コミュニケーション・接遇関係領域（面接技術・ケースワークなど、社会福祉援助技術に関すること）
井 笠	スキルアップ領域（職業人としての自己管理・職場管理、及び研究・論文等作成に関すること）
高梁・総社	倫理・人権領域（職業倫理・人権等に関すること）
真 庭	医療領域（高齢者の健康管理について）
新 見	認知症関連領域（認知症の理解・ケアに関すること）

### ●井笠地区【カテゴリー：コミュニケーション・接遇関係領域】

2月23日、笠岡市認知症介護研修センターにおいて会員15名、非会員10名、計25名の参加にて、初任者研修会を開催しました。『職場内におけるコミュニケーション』をテーマに人材定着支援アドバイザー・特定社会保険労務士 佐藤起世子氏に講演をしていただきました。コミュニケーションの基本は正しく伝え合うこと。話すときは相手が分かりやすいように伝える、聞くときは自分の枠に当てはめないで相手が本当に言いたいことを聴く。この基本が相互理解への近道であり、人は自分を理解してくれる場所で力を発揮するとの事。演習を交えての話の中、あたりまえの事がいかに難しいかを再認識しました。

(報告：中濱 匡美)



## ★平成 24 年度研修スケジュール新着情報

過日会員様へ配布させて頂きました研修スケジュールに新たな情報です。  
お近くの該当される方へ、ぜひお知らせして下さい。

### ★介護支援専門員受験対策研修会（全3回）

- 日 程■ 8月4日・9日 10月3日（予定）
- 会 場■ 岡山県総合福祉会館 5階 講座室
- 講 師■ 堀 部 徹 氏
- 定 員■ 50名

※但し、定員に満たない場合、中止になります。

### ★介護福祉士国家試験全国模擬試験筆記

- 日 程■ 12月2日(日)
  - 会 場■ (株)ジェイエイ岡山(J A岡山)6階
- ※実技 12月(予定)決定次第お知らせします。

### 今年度より名称が変わりました。

23年度に開催した介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修は  
**介護福祉士養成実習施設実習指導者講習会**へ変更しました。

### 訂正します。

介護福祉士国家試験対策講座の日程を  
平成 25年 12月 22(土)・23日(日)としておりましたが  
平成 24年の間違いです。訂正しお詫びいたします。



## 報 告

平成23年度

## 介護技術講習主任指導者講習会

開催日：2月18日(土)・2月25日(土) 会場：美作大学

主旨：この講習は、主任指導者として指導者養成講習の講師並びに介護技術講習の指導に係る総括責任者となる者を養成する講習会です。

主任指導者と指導者間の連携の取り方、受講生への指導の仕方や配慮の仕方など学ぶことができました。

しかし改めて「人に教える」ことは、大変なことと感じた二日間でした。介護技術そのものは、職場において毎日やっていることなので言葉にすることもそれほど苦ではありませんでしたが、理論の部分(介護過程の展開)については、自分でもよくわかっていない部分でもあります。それを人にわかりやすく説明する(指導する)ことは、本当に大変だと感じました。まず、自分が理解するための努力をしようと思います。ありがとうございました。

(旭川敬老園 松島 智枝美)

今回の講習会では最も印象に残ったのは、主任指導者が想像以上に多岐にわたる役割と大きな責任を担っているということです。一指導者として、技術講習会に関わるだけではわからなかった部分を具体的に学びその責任の重さに圧倒されました。

講義・演習ともに定められた内容をただ伝達するだけでなく、受講生の状況に応じ、より理解が深まる方法の工夫、臨機応変な対応、各指導者との協力関係が重要であると実感しました。また模擬授業をやってみて、自分の陥りやすい傾向に気づく良い機会ともなりました。

少しずつでも自信を持って受講生の前に立つことができるよう、この2日間で学んだことを改めて自分の中で整理整頓させていきたいと思っています。

(津山広済療 池上 房枝)

昨年から、技術指導委員会より、この講習を受けるようにとの連絡があったため、覚悟を決めていましたが、いざ、日にちが近づくと不安が増えました。

両日とも主任指導者の指導のもと、講義や演習の進め方、主任指導者としての心構えや指導者とのやり取りの大切さを教わりました。自分にとって良い学びになったと思います。

県南で活動していると関わることのない「介護技術講習会」だったので内容を思い出すのに苦労がありました。また久しぶりに行う演習、指導者や主任指導者の前での講義・演習は非常に難しく緊張の連続で、私の頭の中は真っ白になり、言葉がでてこないこともありました。

最後になりましたが、一番辛かったのは、2月18日の往路でした。私は、当日の天候が『大雪の恐れ』と知り、ノーマルタイヤの車を早朝より走らせました。会場に着く頃には、あたりは一面銀世界……。ビビりました。

(玉野マリンホーム 上所 英司)

国家試験に値する介護技術講習会を行うにあたって、主任指導者の役割などを学び身が引き締まる思いでした。

今後も今回学んだことを後継者育成に役立てたいと思っています。

(ライフケアセンター 酒井 ゆう子)



次世代介護福祉士  
岡山県介護福祉士会  
青年隊 (仮称)

# 募集

“介護のこと” 多くの人たちへ伝える  
メッセンジャーになりましょう★

企画から開催まで携わりPRイベントを行ってまいります。  
(募集対象 35 才以下の本会会員の方)

岡山県下の次世代介護福祉士が集まります。  
同世代、同職種、きっと同じ思いがあるはずですよ！  
自由な表現方法であなたの“介護”を伝えませんか!?  
新しい介護の歴史を築く主役になりましょう★

## 主な活動内容

介護福祉士、また本会をPRする活動など

- ・『11月11日』は介護の日“介護フェア”でのイベント
- ・中四国ブロック研修会“青年介護福祉士の主張”での発表



## 【お問合せ・申込先】

※電話、FAX、e-mailにて会員番号、お名前をお知らせ下さい。今後の活動、スケジュールについてお知らせします。

岡山県介護福祉士会 事務局 〒700-0813 岡山市北区石関町 2-1

TEL086-222-3125 FAX086-222-6780

e-mail : okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp

# みんなの広場 ほっとステーション



## 広

新会員さんに  
聞いてみました

- Q1. 受けてみたい研修は？
- Q2. 介護福祉士会への要望・希望
- Q3. 介護の良さとは？  
仕事をしていて  
うれしかったことは？

平成 15 年度入会：女性

- A1. リーダー研修：人材育成  
施設における実習生の円滑な受け入れの方法
- A2. 入会の特典をもっと増やしてほしい（笑）
- A3. 「ありがとう」と  
直接本人から言ってもらえること  
毎日同じことがなく、変化を楽しめること

平成 23 年度入会：女性

- A1. 集団でのレクリエーション  
「ご飯がほしくない」といわれる方への  
食事援助の方法
- A2. 入会金が高いので安くしてほしい  
地区での研修会の回数を増やして下さい
- A3. 「あんたにしてもらってよかった」と  
言ってもらえたこと  
「あんたで良かった」と信頼されたこと



4月11日、施設の花見が予定されていましたが、天候が悪く花見には行けず、ホールでお弁当を食べていました。テーブルには職員が買って来た切り出しの桜の枝が置いてあり、「きれいなあ〜」「山桜かな？ソメイヨシノかな？」など話が出ていました。職員が「残念でしたね」と話すと、「まあ見たかったけど、いいわ」「花よりもいいものが食べたい」と笑っていました。次の日、職員が何人か連れてドライブに出かけたそうで、夕方に出勤すると、「いや〜よかった！」「あんな桜初めて見た」「連れて出てくれてありがとなあ」とホールで盛り上がっていました。施設の中での生活は四季を感じることが少なく、外出など、外での活動は準備などが必要なことも多く、なかなかできないのが現状ですが、これだけ喜んで頂けるなら少しずつでも機会を増やしたいとおもった矢先、「つぎはレンゲじゃ、菜の花もええな」と次の話をしているたくましさに、少し笑ってしまいました。 倉敷地区：萩野 明弘



## ほっとステーションへの投稿をお待ちしています

あなたの職場の様子や利用者さんとの  
日々のやりとりを教えてください。  
同じ“介護”で働く皆さんが共有できる、  
そんな情報をお待ちしています。



### 編集担当

岡山県介護福祉士会  
広報委員会

- |       |        |
|-------|--------|
| 安達 悦子 | 土屋 教子  |
| 戸澤奈津子 | 萩野 明弘  |
| 小林 貴子 | 頓宮 美樹  |
| 中井 愛  | 小田上美保子 |
| 中濱 匡美 | 山根 寿子  |